

平成30年度 自殺予防教育ワークショップ開催要領

(旧研修名：教育関係機関職員研修)

1 目的

児童・生徒に対する自殺予防の実施に必要な知識や技術を習得する。

2 主催

山口県精神保健福祉センター

3 共催

山口県教育委員会

山口県臨床心理士会

4 対象者

教員、教育委員会等職員、スクールカウンセラー等専門職

5 定員

60名程度

6 日程及び内容

裏面「平成30年度 自殺予防教育ワークショッププログラム」参照

7 場所

山口県総合保健会館 第一研修室（山口市吉敷下東3丁目1番1号）

8 申込方法等

(1) 申込方法 別紙「平成30年度自殺予防教育ワークショップ申込書」により
FAXで申込む。(送付票不要)

(2) 申込先 〒747-0801 防府市駅南町13-40 防府総合庁舎2階
山口県精神保健福祉センター TEL：0835-27-3480
FAX：0835-27-4457

(3) 申込期限 平成30年7月18日（水）

9 その他

・申込は先着順で受け付ける。

定員を超え、受講をお断りする場合のみ電話等で連絡する。

平成30年度 自殺予防教育ワークショッププログラム

児童・生徒に対する自殺予防の実施に必要な知識や技術を習得することを目的として研修を実施します。

【日 時】平成30年（2018年）8月1日（水）10時00分～16時00分

【場 所】山口県総合保健会館 第一研修室（山口市吉敷下東3丁目1番1号）

【プログラム】

9：45～受付

10：00～12：00

講義「自殺予防教育の導入に向けて」

講師：シャルマ直美 先生（北九州市スクールカウンセラー）

13：00～16：00

演習「自殺予防教育の視点をどのように授業に生かしていくか」

アドバイザー：シャルマ直美 先生（北九州市スクールカウンセラー）

《講師・アドバイザープロフィール》

福岡県臨床心理士会所属。福岡教育大学卒業後、小学校教員、ネパールの幼稚園教員や社会福祉法人職員を経て、平成12年より小・中・高・特別支援学校のスクールカウンセラーとして、児童生徒・保護者・教職員を対象に相談活動を行っている。その他、適応指導教室や児童相談所、心療内科等でも相談業務にあたっている。

児童生徒の生涯にわたるメンタルヘルスの基礎づくりとして、いつもと様子が違う友人への声のかけ方、話の聴き方など、自殺予防教育は必要とされています。

今回は「自殺」という言葉を全面に出さずに、普段の授業の中に自殺予防教育の視点を取り入れていくための研修にしたいと考えています。

そこで、皆様が授業で使用している既存の教材（教科書、副読本等）の中には、少し工夫すれば自殺予防教育に使える教材があるかもしれません。使ってみたいと思われる教材があれば、研修申込書の備考欄に教材名をご記入下さい。当日ご持参等をお願いさせて頂くかもしれません。

今回の研修は、教材の工夫の仕方、授業の進め方等について学ぶ場となると思います。皆様の参加をお待ちしております。

【別紙】

精神保健福祉センター行（送付票不要） FAX：0835-27-4457

申込期限 7月18日（水）まで

平成30年度 自殺予防教育ワークショップ申込書

【所属】

【担当者名・電話番号】

氏名	職名	備考